

情報システム・バックアップオフィス 研究会の活動

2013年5月13日(月)

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)
情報システム・バックアップオフィス研究会

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

2012年度の活動内容

1. サイバー攻撃とITサービス継続

- サイバー攻撃と経済産業省「ITサービス継続ガイドライン」（平成20年9月）がどのように関わるかを検証する

2. プレゼンテーションによる情報共有

- 自社/他社の製品、事例、研究会以外の情報も含めて情報を共有する

3. HAPPY HOUR

- 定例会メンバー自身が討議したいこと、他メンバーの意見を聞いてみたいテーマなどを提示し、全員で意見交換を行う

4. 他の研究会との交流

- 他の研究会、地域支部の情報も含めて情報を共有する

5. バックアップオフィス討議

- 東日本大震災（3.11）後の“バックアップオフィス”の事例、変化や変更などについて情報共有を図る

2012年度の活動の総括

1. 「バックアップオフィス」に目を向けた討議

- 2011年度「ITにたずさわる研究会であるという特色にこだわる」活動だったが、研究会のもうひとつのテーマである「バックアップオフィス」にも目を向け、討議したことで研究会メンバーの視野や問題意識が広がった

2. 体験型定例会

➤ バーチャル定例会の実施

- 首都圏以外の研究会メンバーの参加促進となるように、バーチャル定例会を実施
- 主にITツールとして複数のTV会議、WEB会議システムを体験的に活用

➤ 研究会メンバーのオフィスで定例会を実施

- ショールームなどの施設見学や他部署の方々との交流と情報交換につながる
- 首都圏限定になるが業務上外出による参加が難しい研究会メンバーの定例会参加の機会になる

➤ IT-BCPやバックアップオフィス対策の参考になればよい

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

2013年度の活動予定

1. プレゼンテーションによる情報共有
2. HAPPY HOUR
 - メンバー自身が提示したテーマに基づき、全員で意見交換
3. バックアップオフィスに関する要点整理
 - バックアップオフィスの意義、用語説明
 - ファシリティ
 - 目的と機能
 - バックアップオフィス・ビジネスなど
4. ITサービス継続に関する討議
 - 情報セキュリティ（サイバー攻撃など）
 - バックアップ、DR
 - 情報システムに関する訓練など
5. 他の研究会との交流
6. ITBO 用語研究
 - 2010年度～2011年度の成果物に見直しが必要が発生したときに対応する

活動方針

- ◆ 出席することを前提とした活動とする
 - 意見交換・討議を通して認識を高める
 - 他業種についての理解を深めることで、自社のBCに関する気づきやヒントを得る



参加して発言することに意味がある

- ◆ BCについての理解をより深める
- ◆ 人脈を広げる

1.サイバー攻撃とITサービス継続①

2012年度の活動内容

◆ サイバー攻撃の注目点

- 『平成23年版 防衛白書』では前年度版までと比べ、サイバーセキュリティについて安全保障上の重要な課題であることと記載されている
- 『平成23年版 警察白書』では前年度版までにないサイバーテロの事例が記載されている

◆ サイバー攻撃の動向

- 主なサイバー攻撃の種類
 - 標的型攻撃、 DDos攻撃
- サイバー攻撃に関わる活動
 - Hacktivismの活動： Hack + Activism（造語）

◆ サイバー攻撃の定義

- サイバー犯罪： コンピュータやインターネットを利用した犯罪いわゆる「サイバー犯罪」は、匿名性が高い、犯罪のこん跡が残りにくい、不特定多数の者に被害が及びやすい、国境を越えることが容易である 等の特徴があり、従来の犯罪とは異なっている
- サイバーテロ： サイバーテロとは、重要インフラの基幹システムに対する電子的攻撃又は重要インフラの基幹システムにおける重大な障害で電子的攻撃による可能性が高いもの
- サイバー戦争： 公的機関からサイバー戦争の定義は現在みつからない

参考：サイバーフォース（URL：<http://www.npa.go.jp/cyberpolice/cyberforce/cyberforce01.html>）

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

1.サイバー攻撃とITサービス継続②

2012年度の活動内容

◆ ITサービス継続の対象範囲

- 経済産業省 「ITサービス継続ガイドライン」の“ITサービスのスコープ”が対象範囲

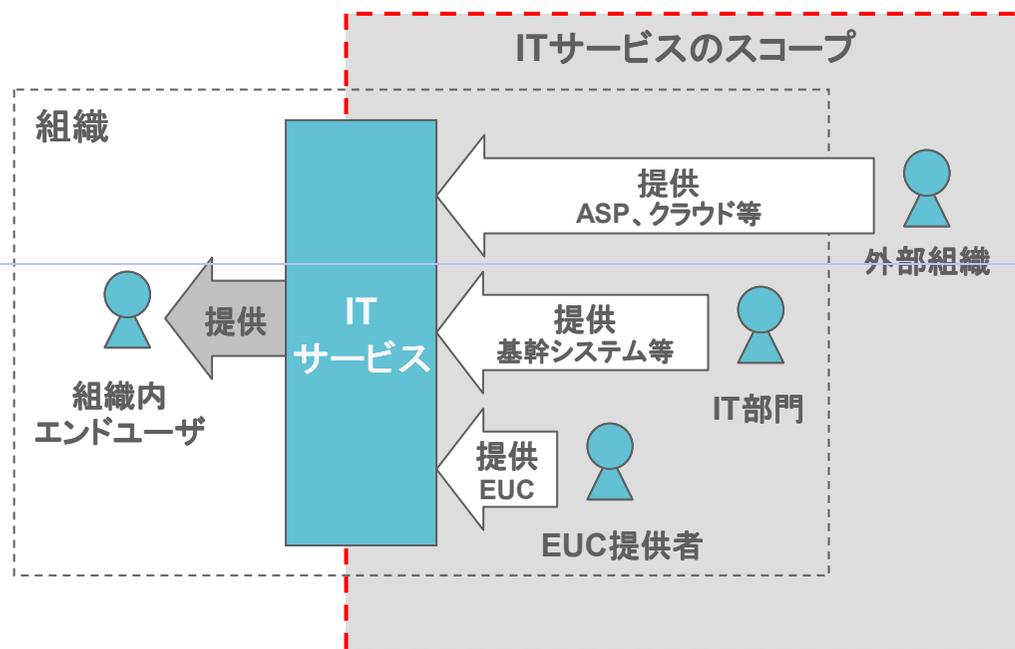


図) ITサービスとITサービスのスコープ

出典： 経済産業省 「ITサービス継続ガイドライン」 (平成20年9月)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

1.サイバー攻撃とITサービス継続③

2012年度の活動内容

- ◆ サイバー攻撃と情報セキュリティ
 - 情報セキュリティとの関係性は、共通項の可用性

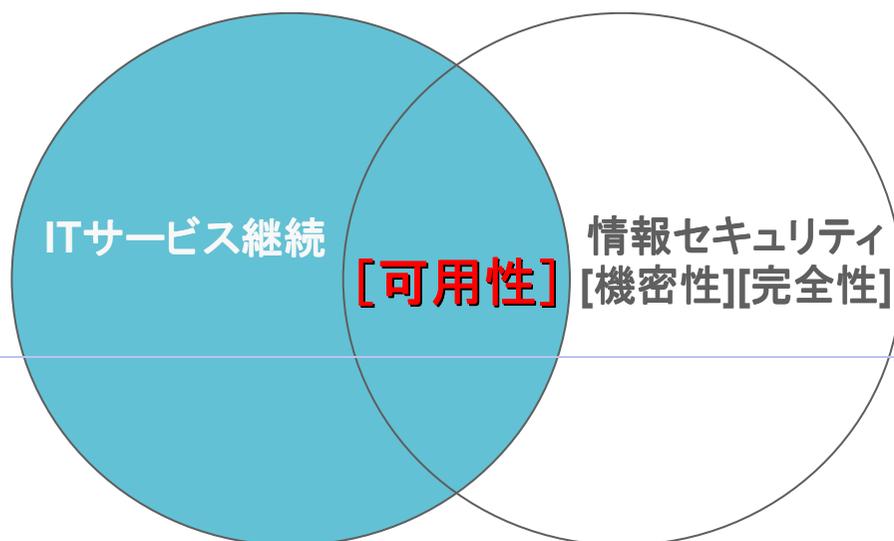


図) ITサービス継続と情報セキュリティとの関係

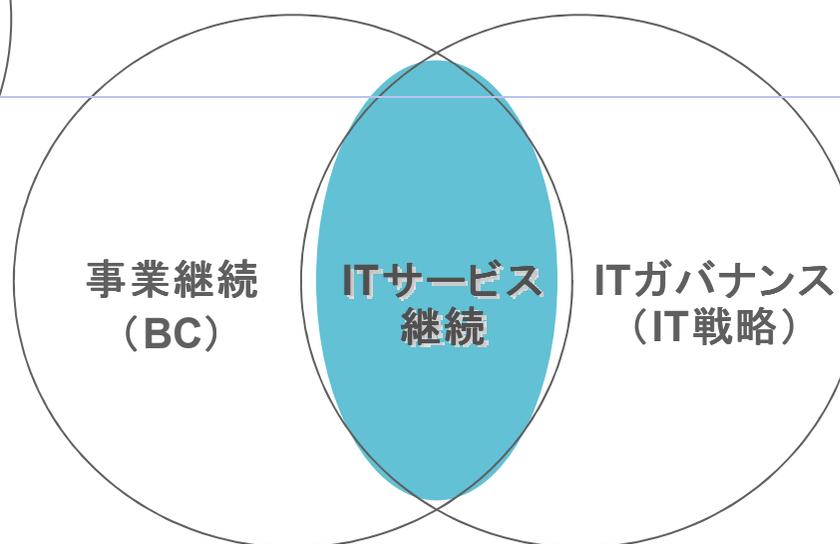


図) ITサービス継続、事業継続、IT戦略との関係

参考： 経済産業省 「ITサービス継続ガイドライン」 (平成20年9月)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

1.サイバー攻撃とITサービス継続④

2012年度の活動内容

- ◆ サイバー攻撃によるシステムリスクの拡大
 - 内部に起因する障害とコンピュータ犯罪の相互からシステムリスクが拡大

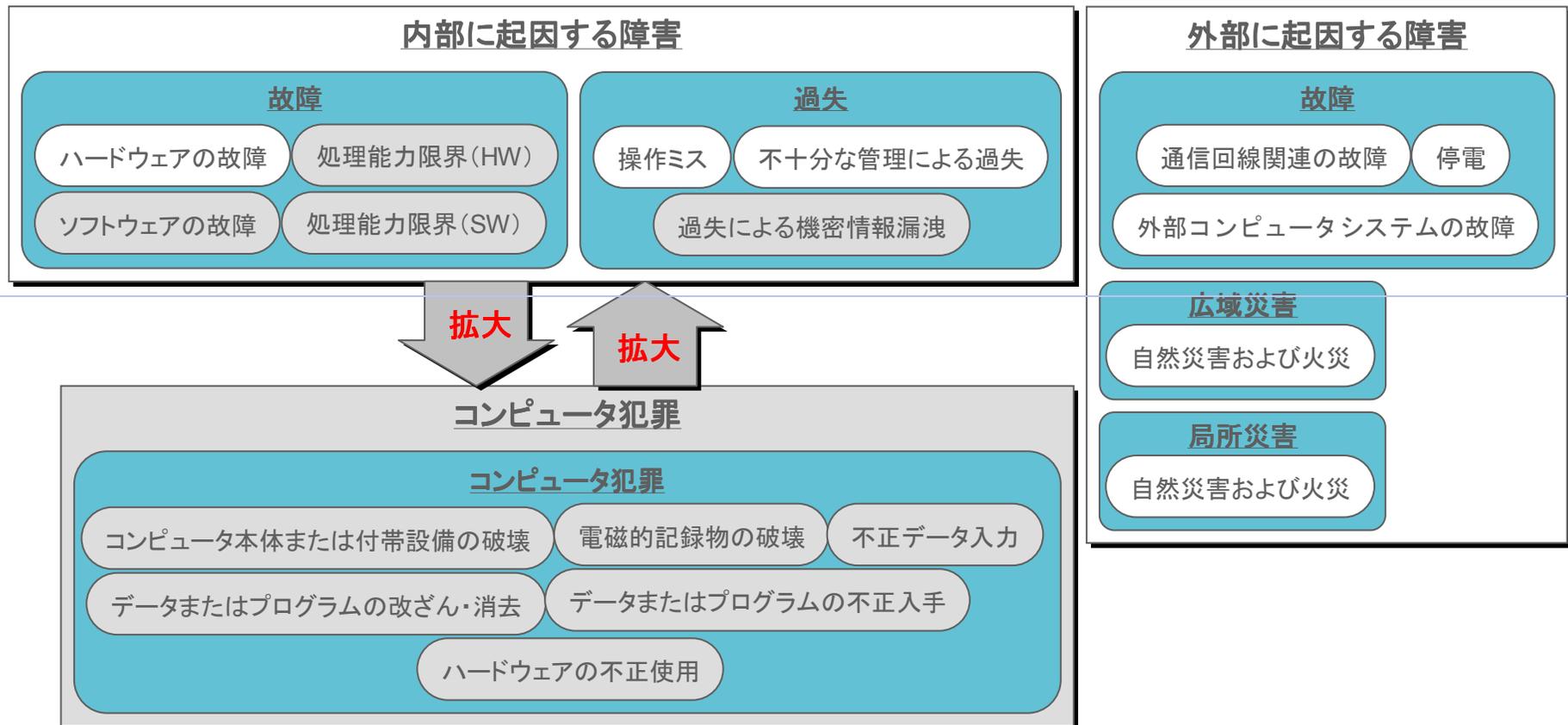


図) システムリスクに関する分類

参考： 経済産業省 「ITサービス継続ガイドライン」 (平成20年9月)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

2.プレゼンテーションによる情報共有

2012年度の活動内容

#	演目	講演者
4月	サイバー戦争から学ぶセキュリティ対策	山崎 文明氏 (ネットワンシステムズ株式会社)
5月	BIAについて (食品メーカーの事例を中心に)	田中 実氏 (グリコハム株式会社)
10月	バックアップオフィス・ ファシリティ要求条件について	関山 雄介氏 (大成建設株式会社)
10月	バックアップオフィス事例について	西出 三輝氏 (NKSJリスクマネジメント株式会社)
12月	ISO22301の取得体験について	高木 雄司氏 (株式会社富士通エフサス)
1月	株式会社イトーキ 東京イノベーションセンター (SYNQA) 見学	森田 良一氏 (株式会社イトーキ)
2月	外資系企業のBC対策について	佐柳 恭威氏 (バークレイズ・キャピタル証券)
3月	RADVISION社ビデオ会議システム 「SCOPIAシリーズ」の活用事例	渡邊 琢巳氏 (株式会社エム・ビー・アイ)
3月	Telecommunication at the Time of Earthquake	伊藤 高信氏 (FUN, Inc)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

3.HAPPY HOUR（討議テーマ）

2012年度の活動内容

◆ バックアップオフィスの状況

- 各社（自社やクライアント企業など）のバックアップオフィスについて、どこを想定、準備をしているのか？

◆ BCPと既存の規程との位置づけ

- ディザスターリカバリープラン、コンティンジェンシープランなど、BCPとの違いは？
- 既存の障害対応規程、危機管理規程とどう扱えば良いのか？
- 緊急連絡に使用する携帯番号（個人のもの）、メールアドレス、その他連絡手段の内容を会社に登録するのは個人情報だから開示したくないという職員に対して、安否確認はどこまでできるか？

◆ 参考事例、実施ポイント

- リスク評価、BIA、RTO設定、演習、社内周知・啓発活動、各アクションにおける参考事例、実施のポイントは？
- 首都直下地震が発生した場合、完全復旧を災害発生から何か月後と想定／設定しているか？
- 発災直後の被害状況収集のためのツールと方策は？

◆ ソーシャル防災訓練の効果

- SNSの活用と効果についてどう捉えるか？

4.他研究会との交流

2012年度の活動内容

◆ 関西地域研究会

- 2012年5月 関西地域研究会 田中 実氏を定例会に招待
 - ・ 講演内容：「BIAについて（食品メーカーの事例を中心に）」
- 2012年10月 関西地域研究会にITBO座長が参加
 - ・ 講演内容：
「某レンタルサーバ大規模障害の事例から - IT-BCPを考える - 」

◆ BCP維持管理研究会

- 2012年11月 維持管理研究会 定例会にITBO座長がオブザーバー参加
 - ・ 今後の交流： 2013年度に合同研究会開催（予定）

5.バックアップオフィス討議①

2012年度の活動内容

◆ 背景

- 東日本大震災（3.11）から1年以上が経過し、当研究会ではこれまで、情報システム（IT）分野のテーマを多く討議してきたが、“バックアップオフィス（BO）”というテーマについても討議する気運が高まった
- “バックアップオフィス（BO）”は、当研究会の取扱い分野である

◆ 目的

- 東日本大震災（3.11）後の“バックアップオフィス”の事例、変化や変更などについて情報共有を図る

◆ 討議のポイント

- バックアップオフィスの意義、用語説明
- ファシリティの要求条件
- 目的や機能（バックアップ、リカバリなど）
- バックアップオフィス（BO）ビジネスなど

5.バックアップオフィス討議②

2012年度の活動内容

◆ ファシリティの要求条件を決めるために

- 事業戦略・IT戦略などの把握
- 事業戦略・IT戦略に沿った施設戦略の策定
- 施設戦略に沿ったファシリティの要求条件のまとめ
- リスクアセスメントを把握し、最適な立地の選定
- 要求条件に沿った、具体的な施設の設計

◆ バックアップオフィス事例から

- チリ地震の経験から、工場の一つを高台に置いたため減災することができ生産を早期再開
- 中小企業のBCP/BOの取組の実態や、業種・業態によってはBOを検討するよりは廃業(主要業務は同業他社へ移管)を選択するケースもありうるなど厳しい実情がある
- 一方、中小企業がBCP(経営計画や再建計画含む)を持つことで融資を受けられる際に有利になる
- 「拠点活用」と言い換えるとBOに興味を持つ経営者もいる

特定非営利活動法人
事業継続推進機構
情報システム・バックアップオフィス研究会
A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)